

CondeHouse Factory

カンディハウスの工場について



木取工場

部材のカットや成型加工など、材料の調整を行う木取り工程が中心の工場です。カンディハウスのものづくりが始まる第一工程であり、製品の仕上がりに大きく影響するため、材料を見る目や勤が求められます。

※ 工場床面積 約1,520㎡(約460坪)

北工場

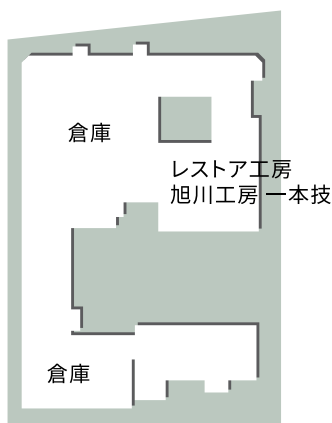
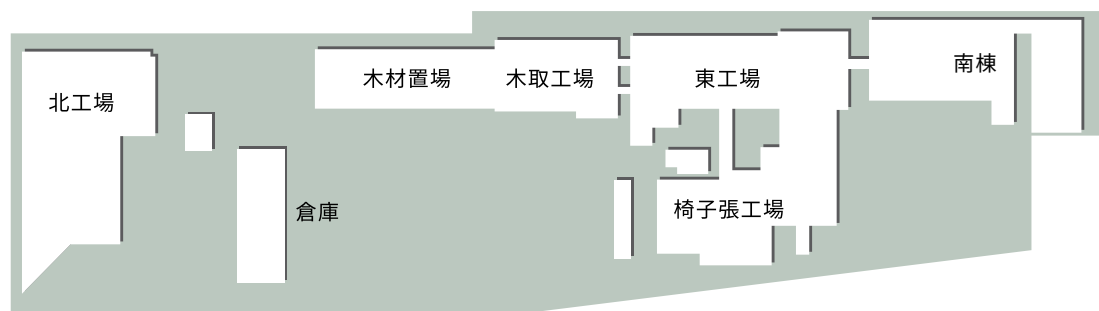
「テーブル」や「箱物」を中心に生産。5尺(1.5m)×10尺(3.0m)のパネルが加工できるように、機械も大型のものを多く使用しています。また、細かな注文に応える特注品の生産にも対応します。

※ 工場床面積 約4,090㎡(約1,240坪)

東工場

椅子を中心とした「脚物」を生産。加工から組み立て、仕上げ、塗装までを行う工場。先進機械による高精度な加工と、必ず人の手で行う仕上げにより、カンディハウスの品質が維持されています。

※ 工場床面積 約2,610㎡(約790坪)



敷地面積
約 30,900 ㎡ (約 9,347 坪)

建築面積
約 11,030 ㎡ (約 3,336 坪)

延床面積
約 24,980 ㎡ (約 7,556 坪)

北海道・旭川の本社には開発、業務、販売部門と直結した自社工場があり、「CondeHouse」ブランドの家具はすべてここでつくられています。大雪の山々に囲まれた旭川は、豊富な森林資源を背景に木工産業が発達した地です。私たちが深く美しい北の森の隣りで、木の呼吸を肌で感じながら家具をつくってきました。育った場所の気候や環境によって一本一本異なる木のクセや特性。それを読み取ることのできる職人と先進機械が巧みに協調し合うことで心地よい家具が生まれます。



椅子張工場

約80種類におよぶファブリック&レザーコレクションを取り揃え、裁断からウレタン接着、張り込みまでを行います。近年需要の高まる「張り替え」にも対応しています。

※ 工場床面積 約1,610㎡(約490坪)

旭川工房 一本技

「一本技」は、カンディハウスが培ってきた伝承的技能や先端技術のうち、特に伝承性を重視した家具として誕生。木工職人が一本一本異なる木の表情を見極め、機械と手仕事を融合させることにより、唯一無二の家具が生まれます。

※ 工場床面積 約320㎡(約97坪)

レストア工房

傷が付いたり汚れたりしてもまだまだずっと使いたい。そう思ってくださいの皆さまにお応えするために、「レストア工房」があります。お客さまの要望を聞きながら、ベテランの職人が直す範囲や直し方を検討し、愛着のある家具をいつでも気持ちよく使えるよう、修理・再生してお届けします。



株式会社カンディハウス

本社・工場

079-8509 北海道旭川市永山北2条6丁目
Tel 0166・47・1188 Fax 0166・49・2225

